



長井ロータリークラブ会長	大山友規憲	第2800地区ガバナー	大久保章宏
幹事	土屋茂樹	第6ブロックガバナー補佐	味田琢哉
例会日	毎週火曜日 12:15~13:15	例会場	タスパークホテル TEL0238-88-1833
事務局	長井商工会議所内 TEL0238-83-2047	URL	http://www.nagai-rc.jp
E-mail	info@nagai-rc.jp	会報委員	塚田弘一 寒河江良一 横澤寿彦

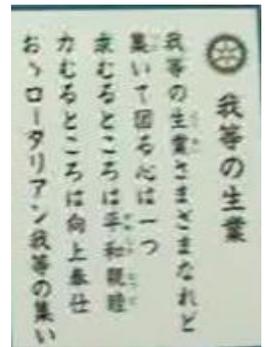
## 【11月・特別月間】ロータリー財団月間

例会報告 No.14 (通算 第2804回) 2019年(令和元年)11月19日(火)号

## ■ロータリーソング : 我らの生業

◎ロータリーソングとは (出典:ロータリー百科事典)

- ロータリー創立後、三年間シカゴロータリークラブでは奉仕強調派と親睦派との間に激しい議論があり、クラブの崩壊寸前となったとき、印刷業のハリー・ラグルスが諸君歌を唄おうではないかと提案したのが始まりと言われている。
- 「我等の生業」は一業一人制のロータリアンがクラブを結成し、平和と親睦の目的に向かって、クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕の四大部門を通じて努力するという内容である。特に歌詞には職業奉仕の重要性が強く歌われている。



## ■ゲスト紹介 :

県環境エネルギー部  
エネルギー政策推進課  
課長 高橋 徹氏



ゲスト入場

## ■会長の時間(挨拶・報告): 大山友規憲会長



本日は、山形県環境エネルギー部エネルギー政策推進課課長高橋徹様にお越し頂き、ゲスト卓話として「山形県エネルギー戦略について」と題してお話頂きます。今では無くてはならない物となった電気ですが、停電が起ると有難味が良く解ります。日常生活に欠かせない電気のこれからについてですので、興味を持って拝聴したいと思います。

さて、話は変わりますが、前回の通常例会から2週間程休会があり、久しぶりに挨拶をさせて頂くような感じがします。この間に米沢おしょうしなクラブさんの周年式典があり、4クラブ合同例会も長井中央さんで行われました。又、例会こそ無かったのですが、指名委員会が行われ、次年度の体制づくりも着々と進んでおります。こうした中でつくづく感じますが、会員数の減少による弊害です。年度当初より会員拡大を図る為、様々な方々からご助言を頂き、実際に動いても頂いているのですが、中々増加に結びついておりません。誰でも良いという訳でもありませんし、様々なハードルはあるかと思いますが、12月で半分の折り返しでもありますので、後半も更なる会員拡大の活

動を進めて参ります。皆様からご紹介等ありましたら、教えて頂けると助かります。

尚、先ほどの理事会で、次年度ガバナー補佐について難航しましたが、横澤寿彦会員より就任の承認を頂きましたので報告します。この場でご挨拶申し上げます。それでは今日も宜しくお願いします。

#### ■次年度ガバナー補佐：就任挨拶

ガバナー補佐に就任させて頂きます。補佐の業務はガバナーの思いや方針をより伝えること、ロータリーについて語る等で年2～3回担当クラブを訪問することになります。ロータリーのため、長井ロータリークラブのため、2度目ではありますが、皆様のご支援を頂きながら努めてまいります。宜しくお願いいたします。



#### ■第10回理事会報告：協議事項他 11月19日開催

1. 12月プログラムについて — 承認
2. 2020-21年度ガバナー補佐の選任について — 横澤寿彦会員に決定
3. 60周年記念式典準備委員会について — 承認
4. 規定審議会・定款改正について — 12月理事会にて承認（年次総会にて決議）
5. その他 — 承認
  - ・主催英語弁論大会について — 2020年1月28日（火）開催
  - ・九州北部豪雨水害、台風15号災害支援について
  - ・小さな親切な会 — R元年度会費納入について

#### ■幹事報告：小笠原信吾副幹事

1. IMの収支報告 — 米沢上杉RCより
2. 長井芸術文化賞候補者推薦について — 長井芸術文化賞基金会
3. 第7回日台ロータリー親善会議（福岡大会）  
日時 2020年3月6日（金）会場 ホテルニューオータニ博多
4. 長井商工会議所役員改選の知らせ
5. 11月ロータリーレート 108円/ドル — RI日本事務局より
6. 第2800地区より
  - ・名称変更（ブロックをグループへ 斎藤年度事業より）
  - ・ロータリアンの行動規範の改訂（内容略）
7. 60周年記念事業出席礼状 — 寒河江RCより



#### ■表彰（11月）：

- ・ご本人誕生日 — 尾形和夫会員 土屋茂樹会員
- ・奥様誕生日 — 梅津喜博会員
- ・結婚記念日 — 塚田弘一会員（2日）横澤寿彦会員（3日）那須 修会員（7日）  
斎藤裕之会員（11日）大道寺信会員（23日）遠藤伴明会員（26日）

#### ■委員会報告

○プログラム委員会；浅野敏明委員長  
12月プログラムについて（詳細HP参照）



○R財団・米山奨学会委員会；手塚典雄委員  
（10月BOX状況報告）寄付ありがとうございます。

米山BOX 伊藤克也会員 大山友規憲会員 井上晴雄会員  
遠藤伴明会員 渡部清隆会員 尾形和夫会員  
手塚典雄会員 横澤寿彦会員

※11月は財団月間です。目標に向けよろしくお願いたします。



- #### ■ニコニコBOX；那須 修委員長
- 大山友規憲会長 ゲストを歓迎して
  - 尾形和夫会員 娘が結婚しました
  - 那須 修会員 ゲストを歓迎して
  - ・9月度までの総計を発表



# 山形県のエネルギー政策について

県環境エネルギー部  
エネルギー政策推進課  
課長 高橋 徹氏



## 《目次》

- 1 エネルギー戦略策定の背景
- 2 エネルギー戦略の概要
- 3 これまでの取組みとその成果、今後の展開
- 4 様々な新たな新電力について

## ○ 開発目標

「電源」と「熱源」の総和として、  
電力換算で 約100万kWの新たなエネルギー資源の開発を目指す。

**2030年度末の開発目標** 101.5万kW (23億100万kWh)

電源 87.7万kW (19億6,000万kWh)  
熱源 13.8万kW (3億4,100万kWh)

**2020年度末の開発目標** 67.3万kW (12億8,300万kWh)

電源 57.0万kW (10億2,900万kWh)  
熱源 10.3万kW (2億5,400万kWh)

## 1 エネルギー戦略策定の背景

◎ 平成23年3月11日に発生した東日本大震災がきっかけ

- ・ 本震、余震により、県内の広い範囲で2度の大規模な停電が発生
- ・ 東京電力 福島第一原子力発電所の事故による原子力発電所の安全性に対する不安の高まり

➡ 県外に大きく依存してきたエネルギーについて、省エネを図りつつ、県民生活や産業活動に必要なエネルギーは、県内で確保していく、という視点からの政策展開へ

## ○ エネルギー種別の開発目標

	2020年度(令和2年度)	2030年度(令和12年度)
<b>電 源</b>	57.0万kW	87.7万kW
風力	31.2万kW	45.8万kW
太陽光	22.8万kW	30.5万kW
中小水力	0.6万kW	2.0万kW
バイオマス	1.0万kW	1.4万kW
地熱・天然ガス等	1.4万kW	8.1万kW
<b>熱 源</b>	10.3万kW	13.8万kW
バイオマス熱	2.5万kW	3.4万kW
その他熱利用(太陽熱・地中熱等)	7.9万kW	10.4万kW
<b>合 計</b>	67.3万kW	101.5万kW

## 2 エネルギー戦略の概要 (平成24年3月策定)

### (1) 目的等

- 政府の動きを先取りし、再生可能エネルギーを中心としたエネルギー供給基盤を整備し、エネルギーの安定供給を図る。  
また、地域の中にエネルギー源を分散配置することで、災害対応力の向上を図る。
- これらを通じ、産業の振興・地域の活性化、より安心して暮らせる持続可能な社会を構築し、将来世代につないでいくことを目指す。

➡ こうした施策を中長期的に展開していくことで、原子力発電への依存度を徐々に低くしながら、ゆくゆくは原子力に頼らない「卒原発社会」の実現につなげていく。

## ② エネルギー政策推進プログラム

【政策展開の2つの視点と導入方向】

### ◆ 大規模事業の県内展開の促進

- ・ 「風力発電」や「太陽光発電(メガソーラー)」を中心に県内展開を促進

### ◆ 地域分散型の導入促進

- ◇ 家庭・事業所、公共施設への分散型エネルギー資源の導入促進
  - ・ 気象や自然条件等の地域特性に応じ、「熱」を含めた再生エネの導入を積極的に推進
  - ・ 再生エネ導入と併せて省エネを推進
- ◇ エリア供給システムの構築
  - ・ 電力及び熱のエリア供給システムの構築
  - ・ エリア供給の主体を担う地域エネルギー会社の創設

➡ 上記の取組みを通じた産業振興・地域活性化

### (2) エネルギー戦略の構成 (2部構成)

#### ① 基本構想 (期間:20年 H24.3~R13.3)

- ・ 20年後(令和12年度)に目指す姿
- ・ 開発目標 を設定

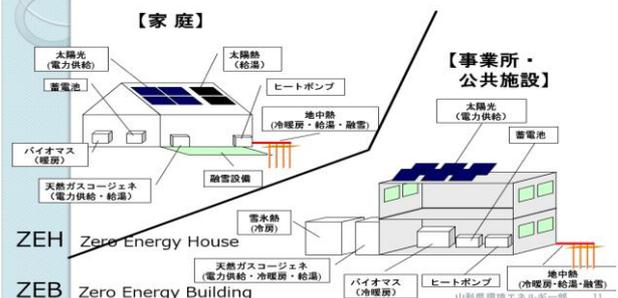
#### ② 政策推進プログラム (期間:10年 H24.3~R3.3)

- ・ 基本構想の実現に向けた具体的政策の展開方向を定めるもの  
(平成28年度に中間見直しを実施)

※R3年度以降のプログラムの策定は今後検討

(参考) 導入イメージ

### ◇ 家庭・事業所、公共施設への分散型エネルギー資源の導入



### 3 これまでの取組みとその成果、今後の展開

#### (1) 大規模事業の県内展開の促進

- **県自らの取組み**(風力、太陽光、中小水力)
  - ・未利用県有地等への事業者の誘致(太陽光)県施設:7か所、市町村施設:6か所(小形風力)県施設:1か所
  - ・事業適地の調査・公表(陸上風力、中小水力)
  - ・陸上風力
    - 風況等の実測データを提供する風況調査(実施中を含め現在までに8か所)
  - ・洋上風力
    - 山形県地域協同型洋上風力発電研究・検討会議における研究
- **支援制度等の創設**
  - ・低利融資や利子補助による資金確保への支援
  - ・バイオマス発電施設の整備(豪雪地でのボイラー建屋等の整備への支援)

#### (2) 地域分散型の導入促進

- **家庭・事業所**
  - ・太陽光発電設備やペレットストーブ等の導入への補助(年間1,000件超)
- **公共施設**
  - ・市町村防災拠点等への再エネ設備等の導入支援
- **エリア供給**
  - ・スマートコミュニティ構築に向けた調査等
  - ・事業者がエリア供給システム構築に向けて行う可能性調査や設備導入への支援(湯野浜温泉での温泉熱を利用した先進的なエリア供給事業への支援等)
  - ・(株)やまがた新電力の設立

#### ◎ 主な取組み事例

##### 最上町の取組み

- ・平成17年度に国の「バイオマスエネルギー地域システム化実験事業」の採択が契機
- ・「ウェルネスタウン最上」にバイオマスボイラーを3基設置し、最上病院、老人福祉施設、健康センター、園芸ハウス等に熱を供給し、温水供給や冷暖房に活用



- ・若者の定住に向けたモデルタウンに木質バイオマスボイラー3基を設置
- ・23世帯に熱供給(温水供給、暖房)するほか、地下水熱を利用した道路融雪設備を導入

#### ◎ 主な取組み事例

##### 県営太陽光発電所(村山市) 神室発電所(金山町) 県企業局



最大出力1MW  
パネルの種類や、架台の高さ、取付角度等を複数種類に分けて設置し、発電量などのデータをホームページで公開



神室ダムの利水・河川維持のための放流を利用したダム式発電所  
水車発電機1台で最大使用水量1.4m<sup>3</sup>/sの水を使用し、落差38.3mで420kWの発電

##### 広域水道施設での水力発電

水道施設の取水地点と浄水場との落差や、浄水場と量水所との落差を利用し小水力発電を実施  
写真は平田浄水場(酒田市)50kW



#### 【今後の施策の方向性】

#### 1 大規模事業の県内展開促進

##### (1) 各エネルギーに共通する施策

- **立地制約**
  - ・農山漁村再生可能エネルギー法等を活用して市町村が実施するゾーニングの促進、これを後押しする適地調査の結果提供
- **接続制約**
  - ・政府等への系統や地域間連系線の運用改善等に係る提案(近隣県と連携して対応)
  - ・一般送配電事業者との情報交換、県内で出来る系統対策の研!
- **資金制約**
  - ・事業者が金融機関から協力を得やすい環境整備
  - ・商工業振興資金による支援継続・運用改善の検討
- **県民参加の推進**
  - ・県民が資金や役務を提供し、相応の利益の還元がなされる県民参加型事業の展開への支援

#### (2) エネルギー種別ごとの施策

- **風力発電**
  - ・民間事業者による風況調査の促進
  - ・洋上風力発電の導入検討
- **太陽光発電**
  - ・設備の保守点検、修繕などメンテナンス事業への県内企業の参入促進
- **中小水力発電**
  - ・取水地点の流量情報開示や、水利権の取得に係る手続きの円滑化・迅速化に係る公的機関への働きかけ
- **バイオマス発電**
  - ・燃料材の確保に向けた県産木材の生産拡大、未利用間伐材や林地残材、製材端材の活用
  - ・農山漁村再エネ法に基づく地域資源バイオマス設備認定の促進

#### ◎ エネルギー戦略の進捗状況

区分	戦略の開発目標		戦略決定以降の新たな開発		
	令和2年度(2020年度)	令和12年度(2030年度)	稼働分	合計(平成30年度末)	
電源	67.0万kW	87.7万kW	33.8万kW	14.8万kW	48.6万kW
風力発電	31.2万kW	46.6万kW	2.2万kW	6.0万kW	8.2万kW
太陽光発電	22.8万kW	30.6万kW	23.7万kW	7.1万kW	30.8万kW
中小水力発電	0.6万kW	2.0万kW	0.6万kW	1.5万kW	2.0万kW
バイオマス発電	1.0万kW	1.4万kW	0.2万kW	7.4万kW	7.6万kW
地熱発電等	1.4万kW	8.1万kW	0.0万kW	0.0万kW	0.0万kW
熱源	10.3万kW	13.8万kW	4.8万kW	0.1万kW	4.9万kW
バイオマス熱	2.6万kW	3.4万kW	3.2万kW	0.1万kW	3.2万kW
その他熱利用(太陽熱・地中熱等)	7.7万kW	10.4万kW	1.7万kW	0.0万kW	1.7万kW
合計	67.3万kW	101.5万kW	38.6万kW	14.9万kW	53.6万kW

- 令和12年度末までの開発目標に対し、計の額が一致しない項目があります。
- 個別には、太陽光発電やバイオマス発電が順調に進む一方、風力発電と熱利用が低調に推移

#### 4 (株)やまがた新電力について

- ・県内の再生可能エネルギー事業者から電力を調達し、県内の需要家に供給する地域新電力会社。県と県内の経済界が一体となったオール山形で出資・設立(都道府県レベルでは全国初)。
- ・電力小売が全面自由化された平成28年4月より事業を開始し、県内の発電事業者15社26発電所から、約3,500万kWh(平均家庭の約11,000世帯分)の再生可能電力を調達し、県内120施設へ電力を供給。(H30年度実績)



- ・東日本大震災をきっかけに地産地消型県内エネルギー戦略を策定。再生可能エネルギーを中心とし中長期的に卒原発社会の実現につなげていく。
- ・20年後は、101.5万kw(原発1基分)目標。
- ・長井市は太陽光、水力、バイオマスと揃っている。
- ・現在、最上町が一番進んでいる。(バイオマスボイラーにて、病院、福祉施設に熱源供給)
- ・「やまがた新電力」(オール山形出資の県内で電力を調達供給する地域新電力会社)が、H28.4より事業開始中。
- 再生可能エネルギーの将来を見据えた貴重な卓話をありがとうございました。(折しも、22日に長井市・川西町・発電事業者等で再生エ自給自足推進協議会発足)



